

## ラコールNF 配合経腸用半固形剤Q & A

ラコールNF 配合経腸用半固形剤（以下、ラコールNF 半固形剤）につきまして、患者さん・ご家族から寄せられるご質問と回答をまとめました。

Q1 注入する方法は？

Q2 温めてもよいですか？

Q3 追加水はいつ注入すればよいですか？

Q4 水を混ぜてもよいですか？

Q5 開封後、どのくらい保存できますか？

Q6 乳糖不耐症ですが使用できますか？

Q7 食物アレルギーがありますが使用できますか？

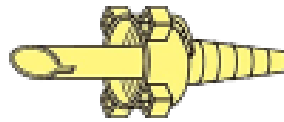
Q8 注入量を変えてもよいですか？

Q9 医療機関以外で購入できますか？

# Q1 注入する方法は？

下記、①～③のいずれか1つの器具を用いることで注入できます。

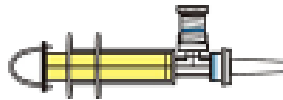
- ① ラコールNF配合  
経腸用半固形剤  
専用アダプタ（別売り）



[注入方法説明書①](#)



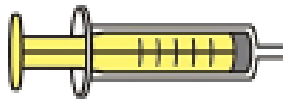
- ② 経腸用半固形剤  
専用注入器（別売り）



[注入方法説明書②](#)



- ③ カテーテルチップ  
シリンジ（別売り）



[注入方法説明書③](#)



ラコールNF<sup>®</sup>経腸用半固形剤を使用される患者さんへ

はじめての半固形剤  
**注入法の手びき**



監修：藤田保健衛生大学 外科・緩和医療学講座 教授 東口 高志

Otsuka 株式会社大塚製薬工場

左の小冊子にも注入方法に関する情報が紹介されています。この小冊子は、医療機関を通じて入手することもできます。

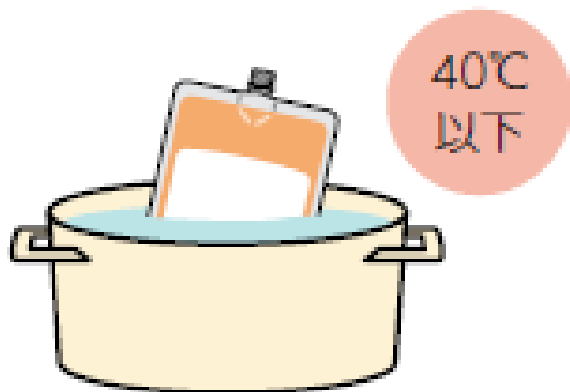
その他、(株)大塚製薬工場のウェブサイトからダウンロードすることもできます。

[http://www.otsukaki.jp/healthcare/home\\_nutrition/](http://www.otsukaki.jp/healthcare/home_nutrition/)

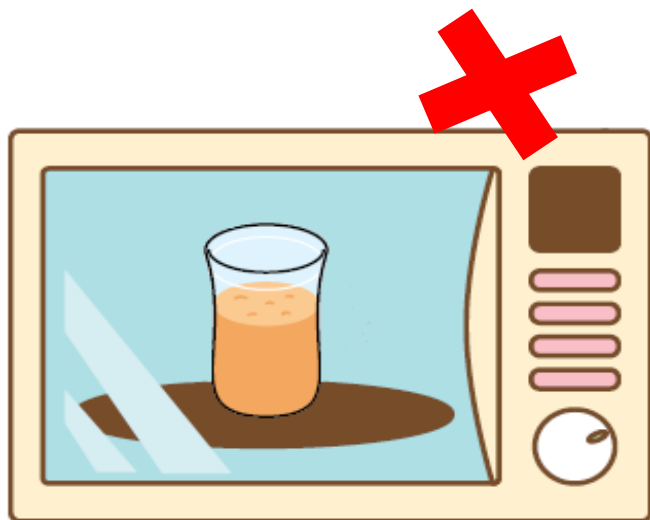
## Q2 温めてもよいですか？

温めて使用することは可能です。  
容器を未開封のままお湯につけて、短時間（5～10分程度）加熱してください。

（注意）湯せんは高温を避け40℃以下で加熱してください。



（注意）  
電子レンジでの加熱は、容器の破損や内容物の粘度が下がるおそれがありますので避けてください。



### Q3 追加水はいつ注入すればよいですか？

水の追加の必要性や必要量は、かかりつけの医療機関の指示に従ってください。

胃内での半固形状を保つため、追加水の投与はラコールNF半固形剤の投与直前や直後は避けてください。追加水を注入する場合には、ラコールNF半固形剤注入30分前か注入2時間後をお勧めします。



または

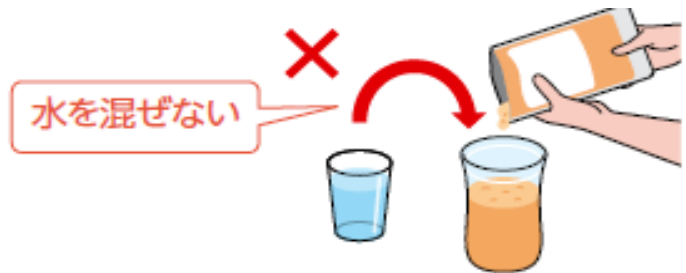


半固形剤 注入  
30分前

半固形剤 注入  
2時間後

## Q4 水を混ぜてもよいですか？

水を混ぜると粘度が下がりますので、混合は避けてください。



## Q5 開封後、どのくらい保存できますか？

開封後はすぐに使用し、あまった場合は保管せずに廃棄してください。

（保管すると、異臭がしたり内容物が固まることがあります。）

## Q6 乳糖不耐症ですが使用できますか？

ラコールNF半固形剤には、乳糖は含まれませんので、乳糖不耐症（牛乳を飲むとお腹がゆるくなるなど）であっても使用することはできます。

## Q7 食物アレルギーがありますか使用できますか？

ラコールNF半固形剤には、牛乳たんぱく、大豆たんぱくが含まれます。これらに対してアレルギーのある方の使用は避けてください。その他の成分に対してアレルギーのある方は、かかりつけの医療機関へご相談ください。



牛乳



大豆

食物アレルギー

## Q8 注入量を変えてもよいですか？

注入量は医師が診断し、患者さんの状態に合わせて調整されます。自己判断で量を変えたり、注入を止めることは避けてください。注入量の変更を希望される場合には、かかりつけの医療機関へご相談ください。

## Q9 医療機関以外で購入できますか？

通信販売やスーパー、あるいはコンビニエンスストア等で購入することはできません。ラコールNF半固形剤は、医師が診断した上で発行する処方箋に基づいて患者さんへお渡しするものです。

